校名

狭山市立堀兼中学校

本校児童会生徒会は、「さやまっ子の誓い」を

「承認します)・ 承認しません。

本校のいじめ防止に関する実践

1. 「生徒会を考える日」の活用(6月24日)

本年度は、集会形式で生徒総会を持つことができなか ったため、放送を活用して一年間の生徒会活動を考えて いく時間(生徒会を考える日)を作った。この時間の中で、 今年度の生徒会スローガンである「PLUS ULTRA 限界を超 えろ」を達成するために、いじめゼロを推進していくこと を生徒会本部から提案し、通年で取り組んでいく活動と して全校に承認された。(右写真:生徒会を考える日の議案書の一部)

2. 「いじめについてのアンケート」の実施

「埼玉県のいじめゼロ推進月間」に合わせて、11月中 に生徒会が主体となった「いじめゼロ」のための取り組み が推進できるように、本部役員会で検討を重ねた。

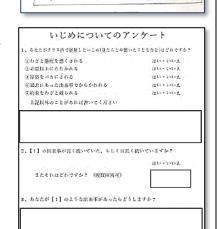
- ①学級ごとに「いじめゼロ」推進のために真剣 に話し合ってもらう時間を作ろう。
- ②学級での話し合いの合意(行動宣言)を全校 で共有する時間を持とう。
- ③掲示物を作成し、話し合ったことが風化しな いように努めよう。

本部役員会では、上の3つを原案としてまとめた。話し

合いのベースとなる実態調査をおこなうために、アンケートを作成した。(上写真) 後日、生徒評議会でいじめゼロ推進のための本部提案が承認され(下写真)、10月中に

10月27日の(放送による)生徒朝 会では、「いじめゼロ」の集中的な取 り組みを翌月に全校で行っていくこ とを広報した。

全校一斉にアンケートを実施した。

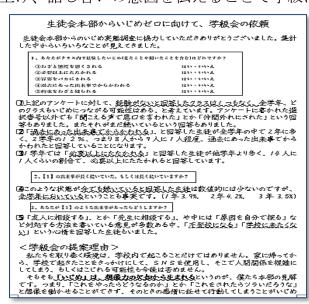


生質朝金や生態を提示板の海外分層 生使開発を治用し、生は金減粉の状況や 事の目標を共有します。 原在 十分に度 まずすうながするないため、教護や騎子板 というでは、大きないできない。 4. いじめでロの特性 「いじめ」のような一生態命活動する人を が飛する行為は終されるものではありませ ん。PLUS ULTRA をモットーにいじめ ぜつを目指し、全校的な取り組みを行いま 何事にも自分の限界まで取り組みましょう。



いじめゼロ」に向けて学級会の実施(11月4日)

アンケートを本部役員が集計・分析し、その結果を2枚の資料にまとめ(下)、全校 に配布した。集会ができないため、学級会の冒頭に本部役員がこの資料を放送で読み 上げ、話し合いの意図を伝えることで学級による差がないように工夫した。



につながるのではないかということです。 につながあのではないかということです。 だとすれば、いじめを未然に防いだり、いじめがクラス内で仮に起こったとしても、 それが大きくなって取り返しのつかないことになる前に、根像力を働かせた見ている人 がアクションを起こしたりして自分たちで解決したりすることができるのではないでしょ うか? 今日は、返棄忠英校の全英を全22ろからいいめて最く美しむ人が以ないようにするために、各クラスの英様に合わせた結合いを持ってもらいたいです。 音楽会が終わり、今、仲間関係がともも望になっています。その電な状態はやゆるすると支いを傷つけあり距離の近さにもなりかわません。 行譲の政にて深まった228の 飲ま人と頭別ななものにするために、22名としての愛いま法定し、本日、生徒会本部に知らせてください。 クラスの学校目孫の中にすでに「仲間関係」についての目様が設定されているクラ スについては、この機会にその目様について扱り返り、新たな意識を持ってさらに目様 を深めるようにしてもらいたいです。 掲録中学校生総会は、「ブルスウルトラ」の精神で互いの向上をめざし、 いじめのような卑劣かつ馬鹿げた行為を生徒の手で追放したいです。 議題「よりよいクラス作りのために」 学級目標に仲間関係に関する目標がないクラ → 目標に対しての現状での達成度や足りない部分についての井浦理解 分と改善する部分の共通理解を図る (アンケートの集計**コー語**を参考にしてくださ グルとうも・Cの子を選出す (アンケートの集計131-435を参考にしてくださ い) ↓ 今後、改善を図るために、または良い状態を維 続しよりよくするために、学級として大切にしてい きたい仲間関係に関する決意を話合い ・ 会後、さらによい学校にしていくために、またはだり 善するべき点を改めるためのクラス決意を話合 → 決意文の決定・発表者の決定 決算文の決定・発表者の決定

※学根会の司会は学板に任せます。議長のいるクラスは議長に。特に決めていない学 板は学板委員が行ってください。

学級会の様子 どのクラスもしっかり話 し合いがされていた。



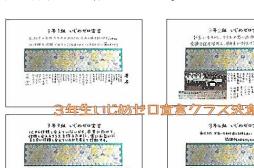


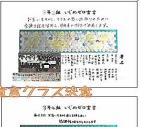


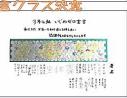
4. 各学級の「いじめゼロ行動宣言」(11月16日) と掲示物の作成・広報

各学級の代表者が、放送による生徒朝会を利用して、学級会での合意を全校に

発表した(右)。さらに、合意事項を掲示物として まとめた (下)。現在、各教室の廊下・生徒会掲示板 に掲示している。また、生徒会 HP や学校だよりで も積極的に活動を広報している。







1年1組 周りの事を気にかけて、いじめられている人を見たら注意する。 1年2組 全員が意見をしっかり持ち、人に流されないように対策する。 傍観者を作らない。被害者・加害者を作らない。 1年3組 「笑いの絶えないクラス」をむと実現するために1人の人がいたら、声をか けたり、少し様子を見る。 1年4組 自分が言われて嫌なことは言わず、ふだんから優しい言葉を使います。 2年1組 自分の意見を持ち、自分に厳しく他人に優しく。 2年2組 いけないと思ったことをやらない意思を持ち、思いやりのある言動を心がけ る。想像力の欠如したいじりなどを見逃さない。 2年3組 親しき仲にも礼儀あり、ということを念頭に置き、相手のことを考えて行動 します。 2年4組 過去のことを引きずらず、相手の立場になって行動する。 3年1組 壱 相手の気持ちを汲み取るため、交流の場を設けます。 弐 信頼を信頼で返そう! (相談されたことを言わない、うわさを流さない) 3年2組 お互いを知り、クラスの思い出作りのために交換日記を活用し、学年末に クラスで共有します。 3年3組 心から信頼しあえていないから、卒業に向けて信頼し合えるクラスを作る ために常にお互いを支え合い、信頼されているかを考えて行動する。

3年4組 お互いのことを知り、良さを伸載し合って協調性のあるクラスにする。